

令和 4 年度福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業 取組実施報告（2022/6/28 版）

(1) 双葉郡教育復興ビジョンにかかる協議・検討等

□ 双葉郡地域学校協働本部

- 目的：多様な主体との連携を図り、教育の充実、教育と地域復興の相乗効果を生み出す
- 構成：8 町村地域コーディネーター、8 町村小中およびふたば未来学園高校、8 町村教育委員会を代表する者等
- 会議日：【予定】2022 年 7 月～8 月開催予定
- 場所：未定
- 議事内容：
 - 各町村、ふたば未来、関係団体の活動状況紹介、今後に向けた意見交換
- 事業：
 - 外部講師の活用（学校より依頼を受けたコーディネート）
 - 郡内施設の活用

□ 委員会連絡協議会（年 2 回実施）

- 目的：各委員会・取組間の情報共有、連携
- 構成：各委員会委員長および中高連携協議会長
- 会議日・場所・議事内容：
 - 第 1 回 2022 年 5 月 6 日（金）10:30～11:30（オンライン開催）
 - ✓ 今年度計画・推進体制の確認
 - ✓ 各取組の情報共有（昨年度の成果・課題、今年度の概要等）
 - 【予定】第 2 回 2022 年 12 月以降開催予定
 - ✓ 各取組の振り返り
 - ✓ 次年度に向けて

(2) 【予定】第 9 回双葉郡ふるさと創造学サミット

□ 趣旨

- ふるさと創造学の取組を共有し、学びを通じた交流で、地域のつながりをつくる
- （スローガン）～伝えあい、つながって、広がる ふるさとふたばの学び～
町村や校種を越えて学びあい、多様な見方・考え方にふれることで視野を広げる

□ 体制：(サミット実行委員会)

- 実行委員長：石井智明 広野小学校長
- 委員：各町村立・高校・特別支援学校・相双教育事務所より 1 名以上（計 18 名）
- 会議日：5 月 26 日（計 4 回実施予定）

□ 実施概要

- 日時：2022年12月3日（土）時間未定
- 場所：（仮）学びの森（富岡町）＋ オンライン
- 内容：郡内各小中学校及びふたば未来学園中学校・高等学校、富岡支援学校の児童生徒による、各校の「ふるさと創造学」の取組を共有し合うポスターセッション

(3) 【予定】双葉郡小学校絆づくり交流会

□ 趣旨

- 町村の垣根を越えた仲間づくり
- 双葉郡内小学校の教職員の交流・情報交換

□ 体制：

①絆づくり実行委員会

- 実行委員長：横山雄彦 檜葉小学校長
- 委員：各町村（小学校）、特別支援学校より1名以上（計9名）
- 会議日：5月26日（計3回実施予定）

②絆づくり中学生実行委員会

- ふたば未来学園高校3年生より提案
- 委員：郡内中学生3名（追加募集中）
- 会議日：6月18日、7月16日（予定）

□ 実施概要

- 日時：2022年8月1日（月）時間未定
- 会場：ふたば未来学園中学校・高等学校
- 対象：双葉郡内小学校児童
- 内容：（仮）仲間づくりのための大運動会

(4) 【予定】双葉郡中高生交流会 FUTABA 1 DAY SUMMER SCHOOL

□ 趣旨

- （双葉郡中高連携の目的）交流を通じ生徒たちが主体性・協働性・創造性を発揮するとともに、町村や世代の垣根をこえて双葉郡のつながりを感じる
- 実施目標
 - お互い共感したり認め合ったりしてつながりを感じる
 - 普段の学校生活の中ではできない学びを体験し主体的に参加し、わくわくする

□ 体制：（中高生交流会実行委員会）

- 実行委員長：南郷 市兵 ふたば未来学園高校副校長
- 委員：町村（中学校）・高校・特別支援学校より1名以上（計11名）

□ 実施概要

- 日時：2022年8月4日（木）時間未定
- 会場：ふたば未来学園中学校・高等学校
- 対象：○双葉郡内中学校・高校の生徒
○全国の中高生、保護者・一般の方
- 内容：未定

(5) カリキュラム検討・教員研修

1. ふるさと創造学教員研修会

□ 実施概要

- 日時：2022年5月30日（月）13:30～16:00
- 会場：各校（Zoomによるオンライン研修会）
- 目的：8町村が連携して進める「ふるさと創造学」の更なる充実、発展
- 内容：
 - ① 各校の取組（全体共有）
 - 小学校：双葉町立双葉南小学校 津島 美里 先生
 - 中学校：広野町立広野中学校 小野 美佳子 先生
 - 高校：福島県立ふたば未来学園中学校・高等学校 郡司 完 校長
 - ② 講演「新たな価値を創出し未来を切り拓く授業づくり
—「ふるさと創造学」に学ぶ主体的・対話的で深い学び—」
講師 加納誠司先生（国立大学法人愛知教育大学 教授）

□ 参加者数 計54名 ※関係者含む

□ 振り返りアンケートより

- ✓ 生活・総合のそもそものがわかる内容で、ふるさと創造学のそもそものを考える機会となった。子ども自身が興味を持った学びならば、子どもは興味を持ったことから、自分に必要なことを自分で取り入れて学ぶ天才。教師が何かを入れてやろうではなく、教材、体験から自分で、自分に必要なことを取り入れていく天才。大事にしたい視点として腑に落ちました。
- ✓ 深い学びの最適解について、ふるさと創造学を通して考察していきたいとのことでしたが、子どもの学びが主体的になるためにも、授業では本物・事実に触れさせたいと再確認しました。また、日常生活の教師と子どもの何気ない会話の中においても、教師が意図的に地域や社会全般に目を向けさせることが必要ではないかと感じました。日常生活での子どもたちの自然な思考が、本番の学習でも生きると思います。
- ✓ 実際に取り組みされた授業も踏まえてお話いただき分かりやすかったです。自分ご

ととして捉える力が足りないのか発表に抵抗があるのか、人数の問題もあるとは思いますが先生の板書を見る限り、私は子供たちの意見を引き出せていないなと思いました。子供たちの視点から背中を押せるように努めます。

(6) ICT 活用推進・広報誌編集制作

□ 体制（ICT 活用・広報委員会）

- 委員長：大沼 俊之 双葉中学校長
- 委員：各小・中・高校 1 名（計 16 名）

取組① ICT 活用推進

□ 目的

- 離れている双葉郡の学校同士をつなげ、子供たちへの教育効果を高める
- ※ 平成 28 年度より福島全県導入となった「G Suite for Education」（Google 社のグループウェアサービス）を平成 27 年度より先行導入し、先行地域として活用推進

□ 取組概要

- ICT 活用・広報委員会（今後開催予定）
 - 昨年度の振り返り、今年度の活動内容確認
- 交流会やふるさと創造学サミット当日の記録サポート
- Zoom 等を活用したふたば生徒会連合の活動のサポート

取組② 広報紙「ふたばの教育」編集制作

□ 目的

- 双葉郡内各校の取組や子供たちの姿・思いを、教員や子供の視点を大切に地域内外へ取組を発信することで、ふたばの絆をつくとともに、表現・発信等のアクティビティ・ラーニングにつなげる

□ 取組概要

- 広報誌の内容検討、素材準備

□ 今年度広報誌概要

- 内容：

号	2023 年春号（vol. 13）
発行	2023 年 2 月発行予定
内容	未定

- 読者：双葉郡 8 町村の地域住民（各町村広報誌に同封し全戸へ発送）
各校保護者・双葉郡内教育関係者（郡内各校、県教育委員会等へ発送）等
- 部数：約 38,000 部



(7) ふたば生徒会連合	
□	目的 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 交流を通じ生徒たちが主体性・協働性・創造性を発揮するとともに、町村や世代の垣根をこえて双葉郡のつながりを感じられるようにする
□	体制（ふたば生徒会連合担当委員会） <ul style="list-style-type: none"> ➤ 委員長：佐藤仁 葛尾中学校長 ➤ 委員：各中・高校 1 名（計 10 名）
□	取組概要 <ul style="list-style-type: none"> ➤ 担当委員会（教職員）（5 月 24 日） ➤ 生徒活動 <ul style="list-style-type: none"> ① ビデオ会議（6 月 20 日、今後も定期的開催予定） <ul style="list-style-type: none"> ◇ 活動内容やサミットの役割分担、広報誌の内容等について検討 ◇ 自校の行事や生徒会活動等について共有

2022 年 6 月 28 日付

【参考】令和 4 年度福島県双葉郡教育復興ビジョン推進協議会事業 年間実施報告

月	日(曜日)	主 な 事 業
5	6 (金)	委員会連絡協議会①
	24 (火)	ふたば生徒会連合担当委員会①
	26 (木)	絆づくり交流会実行委員会① ふるさと創造学サミット実行委員会①
	30 (月)	ふるさと創造学教員研修会
6	20 (月)	ふたば生徒会連合ビデオ会議①
	28 (火)	第 23 回双葉郡教育復興ビジョン推進協議会
以下予定（日付が決まっているもののみ）		
8	1 (月)	第 6 回双葉郡小学校絆づくり交流会
	4 (木)	第 7 回双葉郡中高生交流会
12	3 (土)	第 9 回双葉郡ふるさと創造学サミット

以上